

2022年度 決算公告

東京都新宿区西新宿2-1-1
 アフラックペット少額短期保険株式会社
 代表取締役社長 有働 知恵美

貸借対照表
 2023年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
現金及び預貯金	491,865	保険契約準備金	678,833
預貯金	491,865	支払準備金	633,888
有形固定資産	22,201	責任準備金	44,944
建物	18,947	代理店借債	1,103
その他の有形固定資産	3,254	その他の負債	48,909
無形固定資産	717,311	未払法人税等	96
のれん	661,261	未払費用	39,244
その他の無形固定資産	56,050	預り金	1,425
その他資産	47,507	資産除去債務	8,143
未収金	40	負債の部 合計	728,846
未収保険料	23,235	(純 資 産 の 部)	
前払費用	2,244	資本剰余金	250,000
預託金	21,986	資本剰余金	490,000
供託金	10,000	資本準備金	490,000
		利益剰余金	△ 179,960
		その他利益剰余金	△ 179,960
		繰越利益剰余金	△ 179,960
		株主資本合計	560,039
		純資産の部 合計	560,039
資産の部合計	1,288,885	負債及び純資産の部合計	1,288,885

(貸借対照表に関する注記)

1. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産（リース資産を除く）

定率法（ただし、建物については定額法）を採用しています。

なお、主な耐用年数は以下のとおりです。

建物及び構築物 8年～15年
 工具、器具及び備品 4年～15年

無形固定資産（リース資産を除く）

顧客基盤については償却期間10年にて定額法で償却しています。

なお、取得価額が10万円以上20万円未満のものについては、3年間で均等償却を行っています。

2. 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっています。ただし、資産に係る控除対象外消費税等のうち、税法に定める繰延消費税等については、前払費用に計上し5年で均等償却し、繰延消費税等以外のものについては、発生年度に費用処理をしています。

3. 責任準備金は、保険業法施行規則第211条の46の規定に基づき保険料及び責任準備金の算出方法書（保険業法第272条の2第2項第4号）に記載された方法に従って計算した金額を計上しています。責任準備金のうち異常危険準備金については、保険業法施行規則第211条の46に基づき、保険契約に基づく将来の債務を確実に履行するため、将来発生が見込まれる危険に備えて積み立てています。なお、責任準備金については、保険業法第121条第1項及び保険業法施行規則第211条の51に基づき、毎決算期において責任準備金が適正に積み立てられているかどうかを、保険計理人が確認しています。

4. 会計上の見積りに関する事項は以下の通りです。

(支払備金)

(1) 当事業年度の計算書類に計上した金額

当事業年度の貸借対照表の「支払備金」に633,888千円計上しています。

(2) 会計上の見積りの内容に関する理解に資する情報

① 算出方法

支払事由の発生の報告があった保険契約のうち、請求内容が確定しているものについては、支払事由の報告内容、保険契約の内容及び損害調査内容等に基づき個別に支払見込額を計上しています。また、支払事由の発生の報告があったものの、請求内容が未確定のものについては、過去の支払実績を基に平均単価を算定したうえで、期末日時点の未払件数に乗じることにより算定しています。このほか、保険契約に規定する支払事由が既に発生しているものの、まだ支払事由の発生の報告を受けていないものについては、過去の支払実績等を勘案して算出した最終損害見積額等に基づき計上しています。

② 翌事業年度の計算書類に与える影響

上記、過去の支払実績から算出した平均単価による見積りには不確実性が含まれているほか、損害調査の進展や新たな事実等の発生により、保険金等の支払額や支払備金の計上額が当初の見積りから変動する可能性があります。

5. 有形固定資産の減価償却累計額は、788千円です。

6. 支払備金の内訳

支払備金（出再支払備金控除前）	633,888千円
同上に係る出再支払備金	—
差引	633,888千円

7. 責任準備金の内訳

普通責任準備金（出再責任準備金控除前）	44,649 千円
同上に係る出再責任準備金	—
差引（イ）	44,649 千円
異常危険準備金（ロ）	295 千円
計（イ＋ロ）	44,944 千円

8. のれんは償却期間 10 年にて定額法で償却を行っています。

9. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

当社は、資金運用については短期的な預金に限定し、事業を行うための必要な資金は新株発行による直接金融によって調達しています。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

預貯金、未収金等は短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似することから、注記を省略しています。

10. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産の発生の主な原因は繰越欠損金です。なお、繰延税金資産の回収が見込めないことから全額評価性引当額を計上しています。

11. 企業結合等関係

事業譲受による企業結合

(1) 企業結合の概要

① 事業譲受の相手先企業の名称及び事業内容

事業譲受の相手先企業の名称 ペッツベスト少額短期保険株式会社

取得した事業の内容 ペット保険事業

② 企業結合を行った主な理由

成長期待の高い日本のペット保険市場に参入するために、ペッツベスト少額短期保険株式会社の保険契約の移転を受けることで顧客基盤を引き継ぎ、速やかにペット保険事業を開始することです。

③ 企業結合日

2023年1月31日

④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする事業譲受

⑤ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として事業の譲受を行ったためです。

(2) 当会計年度に含まれる譲受事業の業績の期間

2023年1月31日から2023年3月31日まで

(3) 取得した事業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価 現預金 0千円

取得原価 0千円

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

①発生したのれんのご金額

672,469千円

なお、のれんのご金額は当事業年度末において、暫定的に算定された金額です。

②発生原因

早期にペット保険事業に進出するために、当該保険負債を引き受けてもなお享受が見込まれる将来市場への事業進出の機会

③償却方法及び償却期間

10年間にわたる定額法

(5) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

資産合計 70,398千円

負債合計 742,867千円

なお、引き受けた負債の額は、一部の保険金請求の査定が未了のため、暫定的に算定された金額です。

(6) のれん以外の無形固定資産に配分された金額およびその主要な種類別の内訳ならびに全体および主要な種類別の加重平均償却期間

顧客関係資産 57,000千円

償却期間 10年

12. 1株当たりの純資産額は、7,568円9銭です。

13. 重要な後発事象に関する注記

(新株発行の決議)

当社は、2023年4月24日開催の株主総会において、アフラック生命保険株式会社を引受先とする株主割当の方法により、普通株式76,300株を発行することを決議し、2023年4月28日に払込みが完了しています。

(1) 増資の目的

財務基盤の強化を図ること

(2) 増資の内容

①発行する株式の種類及び数 普通株式 76,300株

②発行価額1株につき 10,000円

③発行総額 763,000千円

④資本組入額の総額 381,500千円

⑤払込期日 2023年4月28日

⑥資金の使途 少額短期保険事業における運転資金

損益計算書

自 2022 年 11 月 16 日

至 2023 年 3 月 31 日

(単位：千円)

科 目	金 額
経常収益	84,374
保険料等収入	9,853
保険収入	9,853
その他の経常収益	74,521
支払備入金戻入額	74,521
経常費用	264,239
保険金等支払金	73,311
保険返戻金	73,306
解約返戻金	4
責任準備金等繰入額	11,109
責任準備金繰入額	11,109
事業費	177,459
営業費及び一般管理費	147,821
税金	16,690
減価償却費	12,946
その他の経常費用	2,358
経常損失	179,864
特別利益	—
特別損失	—
税引前当期純損失	179,864
法人税及び住民税	96
法人税等調整額	—
法人税等合計	96
当期純損失	179,960

(損益計算書に関する注記)

1. 収益及び費用に関する内訳

(1) 正味収入保険料

保険料、再保険返戻金及びその他再保険収入の 合計額	9,853 千円
再保険料及び解約返戻金等の合計額	4 千円
差引	9,849 千円

(2) 正味支払保険金

保険金等	73,306 千円
回収再保険金	—
差引	73,306 千円

(3) 支払備金繰入額(△は支払備金戻入額)

支払備金繰入額(出再支払備金繰入額控除前)	△74,521 千円
同上に係る出再支払備金繰入額	—
差引	△74,521 千円

(4) 責任準備金繰入額(△は責任準備金戻入額)

普通責任準備金繰入額(出再責任準備金繰入額控 除前)	10,813 千円
同上に係る出再責任準備金繰入額	—
差引(イ)	10,813 千円
異常危険準備金繰入額(ロ)	295 千円
計(イ+ロ)	11,109 千円

2. 重要な収益及び費用の計上基準

(1) 保険料収入に係る収益計上

保険料のうち初回保険料は、原則として収納があり、保険契約上の責任が開始しているものについて、収納時に当該収納した金額により計上しています。また、2回目以降保険料は、契約応当日が到来している契約のうち、保険料の収納があったものについては、収納時に当該金額により、未収保険料については、回収が確実と見込まれる金額により計上しています。

(2) 保険金等支払金に係る費用計上

保険金等支払金は、保険約款に基づく支払事由が発生し、当該約款に基づいて算定された金額を支払った契約について、支払時に当該金額により計上しています。なお、支払備金は、保険業法第117条及び保険業法施行規則第211条の47に基づき、期末時点において支払義務が発生しているもの、または、支払事由が未報告でありながら支払事由が既に発生していると認められるもののうち、それぞれ支払いが行われていないものについて計上しています。

3. 関連当事者との取引に関する注記

属性	会社等の名称	議決権等の所有	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
親会社	アフラック生命保険株式会社	被所有 直接 100%	設立時発行株式の引受	設立時発行株式の引受	740,000	資本金 資本準備金	250,000 490,000

4. 1株当たりの当期純損失は、2,431円91銭です。